

いまもあしたも誇れる座間であるために...

発行者：おぎはら健司
発行元：座間市相模が丘3-24-2-203
連絡先：046-204-5911（ファックスも同じ）

おぎはら健司の市政レポート

平成26年度当初予算の概要その2

2月28日(金)は4月並みの陽気になりましたが、この週末は再び雪の予報も出されるなど不順な陽気の週末になりました。

2月26日に駅頭にて配布させていただきました市政レポートでお伝えいたしましたとおり、4月からの平成26年度の当初予算が座間市当局より提出され、21日から始まった議会にて審議がスタート致しました。

過去最大規模の予算になっているのは前号にてお伝えいたしましたが、いくつかの事業内容の詳細についてもご説明をしたいと思います。

小田急相模原駅西側地区再開発事業については、平成29年10月の完成を目指し、事業内容(都市計画)の変更と今秋までの再開発組合の設立を目指し、地権者の合意形成に向け準備組合と国・県・市との協議が進められます。

この再開発事業についてご存じない方もいらっしゃるかも知れませんが簡単に説明いたしますと、辰街道と東海大相模通りの間の区域で線路の北側一体が事業予定地とされており、一部を除いた対象区域内の地権者のうち3件ほどが反対され、停滞したままとなっております。

このような公共事業の用地交渉では、例えば東海大相模通りの拡幅事業についても一部地権者(誤解されている方も多いかも知れませんが、ハンコ屋さんには事業に協力的です)が反対をされるなど、得てして反対者が出てしまうことが多々ありますが、小田急相模原駅周辺再開発事業では、後から始めた相模原市側では綺麗な町並みが完成をしており、座間市側に於いても一刻も早い完成に期待しております。

平成26年度、再開発に係る予算として5,280万円(うち2分の1は国庫補助)が計上されておりますが、今回の再開発に係る総事業費は63億円とされており、それを三分割して県・市・事業者で負担をする事になります。さらに、県と市の負担分のうち2分の1については国庫補助となりますから、座間市が負担する金額はおよそ10億5千万円となる見込みです。

この費用について、過日の市議会本会議で示された座間市の考えとしては「公共性・公益性は非常に高い。平成2年に再開発準備組合が設立され、平成5年に都市計画決定されてから、長い間足踏みをした事業ですが、完成に向けて

進めてまいります」との答弁がされ、改めてその意気込みが示されました。

事業の是非については様々なご意見があるうかと存じますが、国・県から大規模な支援を得ながら新しいまち作りを実現できる再開発事業の推進に、個人的には賛成をしておりますから、国・県・市との橋渡しや、再開発を望む関係者との調整を進めたいと思います。

3月13日には都市計画審議会が召集され、私も審議会委員として参加をする予定ですが、都市計画決定の変更や再開発組合認可、権利変換計画等、事業推進に注力して参ります。

また、相武台前駅に隣接する商業施設には50名定員の民間保育園が開園され、待機児童解消への取組みも前進を致しますし、最短で平成28年春開業予定の座間キャンプ返還跡地に建設が進められている病院誘致事業に関連し、市内医療施設で懸念されている看護師不足に対応するため、看護師確保のための看護師等奨励金貸付事業もスタートいたします。

また、平成25年4月に改定された資源持ち去り防止条例の効果により市民の皆さんの協力により分別されている資源の確保が更に図られ、補正予算では4,221万9千円の収入増が見込まれるなど、前号でお伝えした投資的経費の増額と併せて積極的で明るい話題が多い予算編成となっております。

振り込め詐欺等特殊詐欺撲滅を！

今回の定例会での一般質問の通告期限は開会日の21日になっておりましたが、タウン誌でも報じられている通り、今回も一般質問を行う事と致しました。

3月4日、恐らく午後2時過ぎの出番となりそうですが、今回の内容は後を絶たない振り込め詐欺等特殊対策と雪害への取組みなど、安全・安心への取組みと致しました。

振り込め詐欺対策については、被害に遭う例(高齢者)に対する意識啓発だけでなく、その子や孫といった方々へも注意喚起を促す事による被害回避を提案しようと考えており、雪害対策では災害時相互応援協定を結んでいる秋田県大仙市からノウハウをご提供頂き、自助・共助による災害対策をすべき、との提言をさせていただく予定です。